

放射線計測学実習

Laboratory in radiation measurement

1 単位 (必修) 3 年

富永 正英・助教 / 保健学科 放射線技術科学専攻 診療放射線技術学講座

西原 貞光・助教 / 保健学科 放射線技術科学専攻 診療放射線技術学講座

【授業目的】放射線計測学の講義内容を、実習を行うことによってより深く理解することを目的とする。

【授業概要】診断領域において使用されている X 線の放射線計測を体験し、その重要性と各種測定器の測定原理および特性を理解する。

【先行科目】『放射線計測学』(1.0)

【関連科目】『放射線物理学 I』(0.5)

【履修上の注意】グループ実習であるから遅刻は欠席扱いとするが、実習への参加を阻むものではない。

【到達目標】実習終了後、おおむね 1 週間以内に実習に関するレポートの提出が必要である。

【授業計画】

1. 実験における注意
2. 一般撮影領域で利用する線量計の校正
3. 撮影条件と照射線量との関係
4. 距離の逆自乗法則に関する実験
5. 一般撮影領域における実効エネルギーの推定
6. 実習のまとめ

【成績評価】提出されたレポートの内容に出席状況を加味して最終成績とする。

【教科書】自作の実験手引き書を配布する。

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217900>